

| | | | | | | | |
|-------------|----|----------------------------|-----------|----|------------|-----|-----|
| 教科 | 家庭 | 科目 | 子どもの発達と保育 | 学年 | 3学年 B選択 | 単位数 | 2単位 |
| 使用教科書および副教材 | | 家庭総合（東京書籍）、生活ハンドブック（第一学習社） | | | | | |

【学習目標】

乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの健全な成長を図る能力と態度を育てる。

【学習内容】

- ① 乳幼児の生活…乳幼児の生活の特徴と適切な養護のあり方、生活習慣の形成、生活環境の整備、健康管理と事故防止などについて取扱い、乳幼児の健全な発育・発達を促す生活について理解させる。
 - ア 乳幼児の生活と特徴と養護
 - イ 生活習慣の形成
 - ウ 乳幼児の生活と環境
 - エ 乳幼児の健康管理と事故防止
- ② 乳幼児の保育…乳幼児の発達を促すための保育の必要性和意義を理解させ、保育の目標と指導の原理に基づく基本的な保育技術を身に付けさせる。また、家庭保育と集団保育について、それぞれの特徴や役割を理解させる。
 - ア 保育の必要性和意義
 - イ 保育の目標と指導の原理
 - ウ 家庭保育と集団保育【大学教授による出前授業・幼稚園・保育園交流実習予定】
- ③ 乳幼児の福祉…乳幼児が心身ともに健やかに育つための児童福祉の理念や法律と制度について理解させるとともに、近年の児童家庭福祉の考え方と子育て家庭への支援に関する施策について理解させる。
 - ア 児童福祉の理念と法律・制度
 - イ 児童家庭福祉
- ④ 家庭科保育技術検定取得に向けての取り組み【音楽リズム・言語表現・造形表現・家庭看護各4級】

【学習方法】

授業は学習目標および内容・理論に基づき、実習を中心に行う。

【学習評価】

- ① 定期テスト
学期末考査を実施し、学習した理論が確実に理解されているかを確認、評価する。
- ② 提出物
授業ごとの記録やワークシートなどの提出状況および提出内容を評価する。
- ③ 授業および実習の態度
授業の出席状況や授業への主体的な参加態度および活動状況を評価する。
- ④ 家庭科保育技術検定

【その他】 学年始めに1年間の教材費および検定料として、2,500円を徴収する。期限内に納めること。